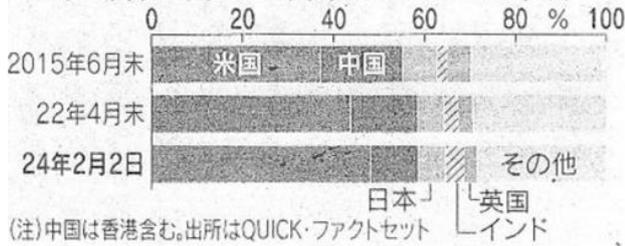


週間国際経済 2024 (4) No.378 02/04~02/14

- 02/04・米、しばむ「3月利下げ説」 1月雇用、予想外の伸び
- 02/05・利下げ「大きく変わらず」 FRB議長、年3回見通し
- 02/06・米時価総額、世界5割迫る 20年ぶり水準 中国停滞で集中 <1>
- ・中国、民間時価総額6割減 大手企業、統制強化で不振 止まらぬ「国進民退」
 - ・実質賃金2年連続減 昨年2.5%減 90年以降で最低 <2>
 - ・消費支出2.6%減少 昨年、3年ぶりマイナス 物価高響く <3>
- 02/07・TSMC、熊本に第2工場 2.9兆円投資発表 トヨタ2%出資 27年稼働へ
- ・米EV生産に1900億円 トヨタ、主力工場改修 電池組み立ても
 - ・トランプ氏の免責認めず 米連邦控訴裁 20年の大統領選巡り
- 02/08・日米韓、貿易で中国離れ 中国は新興国シフト <4>
- 米、対中貿易額16%減 昨年、シェア18年ぶり低水準 対立受け供給網変化
 - ・経常黒字 昨年92%増 20.6兆円、資源高一服で <5>
 - デジタル赤字拡大5.5兆円 5年で2倍に 海外利益、国内還流弱く
 - ・EU、環境・産業両立に焦り 温暖化ガス、40年に9割削減 中国製席卷で危機感 化学農薬に強まる規制 農家反発
 - ・休戦案 ハマスの要求拒否 イスラエル首相 ガザ南部の作戦指示
- 02/09・日銀、緩和出口へ対話詰め 内田副総裁、マイナス金利解除後に言及
- 急速な利上げ「考えにくい」 政府、広がる容認論
 - ・中国、止まらぬ物価下落 1月0.8%低下 4ヶ月連続は14年ぶり
 - ・「育成就労」制度を決定 外国人人材確保へ技能実習見直し 政府、転職認め
 - ・日経平均3万7000円上回る 34年ぶり、一時400円高 ハイテク株に買い
- 02/10・ウクライナ揺らぐ結束 ゼレンスキー大統領、軍トップ解任 <6>
- 反攻停滞で溝深まる 侵攻2年、細る米欧支援 士気・戦況、交代で影響も
 - ・プーチン氏「米、停戦交渉を」 ウクライナ 武器供与の停止要求
 - ・米S&P500、初の5000超え AI関連銘柄けん引
 - ・韓国第三極へ新党合流 総選挙前、二大政党に対抗
- 02/12・IEA、インドと加盟交渉 最終調整 脱炭素で連携へ <7>
- ・台湾第3党、存在感高まる 民衆党、若者の支持拡大 頼次期政権も配慮不可避
- 02/13・TikTokで投稿開始 バイデン氏 若年層アピール優先
- 02/14・米消費者物価3.1%上昇 1月、市場予想上回る
- ・東アジア、欧州 兵器増強 米中対立やウクライナ侵攻で 昨年9%増
 - ・中国66銘柄を除外 米MSCI 全世界株式指数 日印へ資金シフト
 - ・トランプ氏発言「間抜け」 バイデン氏 NATO不関与を批判

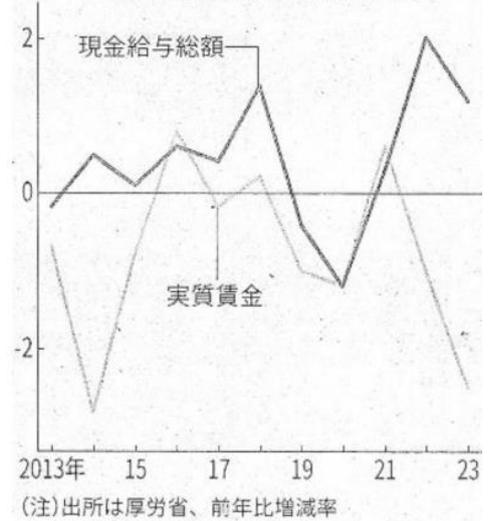
<1>

世界株に占める中国シェアはほぼ半減



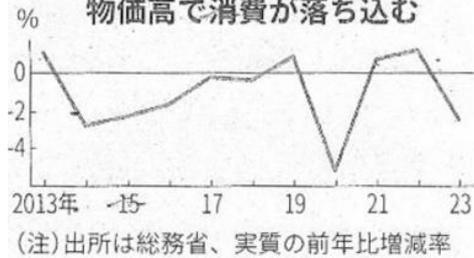
<2>

名目賃金の伸びも鈍化した



<3>

物価高で消費が落ち込む



<4>

世界貿易の構造に変化も

対中国依存が低下

米国の輸入相手国で中国は17年ぶりに首位から外れた

日本の輸出は4年ぶりに対米が対中を上回る。韓国も23年12月単月では逆転

対中貿易の存在感大きく

ブラジルや豪州は資源輸出が堅調。中国との関係強化・修復も進める

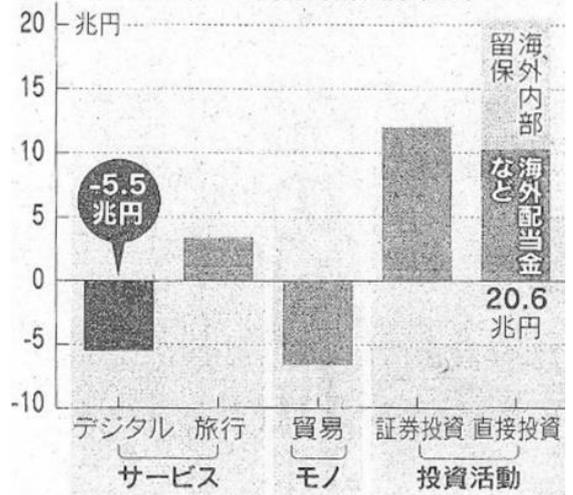
東南アジアは中国との供給網一体化で貿易も拡大傾向

ロシア貿易拡大

トルコは22年からロシアが最大の貿易相手国に

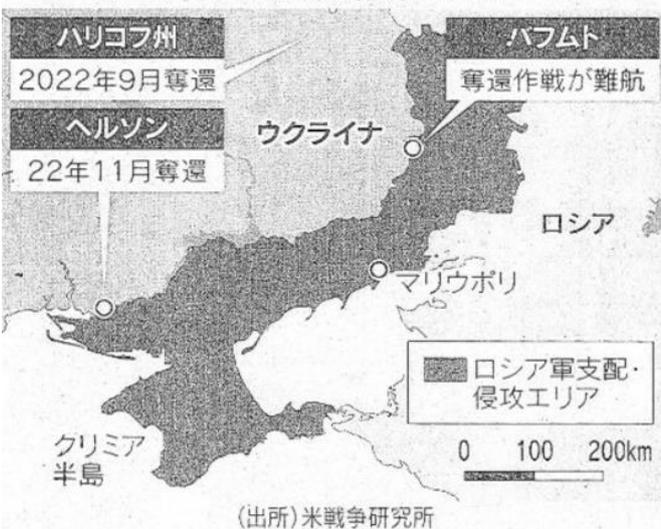
<5>

デジタル赤字が国際収支を押し下げ (2023年の主要分野別国際収支)



<6>

ウクライナの反攻は停滞(2月8日時点)



<7>

地域別の石油需要見通し

